

◆ 「仮眠環境法」 1 枚提案書

◆◆◆ 1.定義 ◆◆◆

「仮眠環境法」とは、仮眠を伴う宿直や夜勤において、労働者が使用する仮眠所についての法律です。労働者の仮眠環境を改善するため、仮眠所の最低条件、誰が仮眠所やその設備と備品を用意するのか、仮眠用寝具に関すること、仮眠所の使用ルール、これらを定める法律です。

◆◆◆ 2.提案の背景 ◆◆◆

- 宿直や夜勤を勤務する多くの労働者が劣悪な場所での仮眠を強いられている。たとえば、カーテンで仕切られただけの空間、リネン室、倉庫、機械室、ボイラー室、ゴミ保管所など。
- 多くの労働者が劣悪な寝具での仮眠を強いられている。たとえば、重くて肌触りの気持ち悪い難燃毛布、へたれきった薄いマット、何ヶ月も交換しない敷布団、寝袋、他人との共同使用のものなど。
- 多くの労働者が、劣悪な仮眠環境を押しつけられて、打ちひしがれ、また、不眠症などの健康被害をこうむっている。

◆◆◆ 3.目的 ◆◆◆

<主目的>

労働者の仮眠環境を改善し、より快適に仮眠できるようにする。

<大目的>

労働者の健康と人生を保護する。

<副目的>

不当な扱いによって、労働者が自己否定感に囚われることを防ぐ。

*** 署名のお願い ***

このサイトでは署名活動を行っております。「署名する」のページに、署名フォームがございますので、こちらをご利用ください。どうかよろしく願いいたします。

◆◆◆ 4.論理 ◆◆◆

宿直や夜勤における仮眠の環境を改善する法律をつくる。つまり、施設所有者の責任、会社等の責任、また、仮眠所の最低条件を法律に明確に定める。

↓↓↓

施設所有者や会社等は、この法律に従って、労働者に対し、仮眠環境を提供するようになる。

↓↓↓

宿直や夜勤を勤務する労働者は、より良い仮眠環境によって、より良い仮眠をとることができるようになる。

◆◆◆ 5.構想 ◆◆◆

「仮眠環境法」では次のことを定めます。

- 設置義務の発生要件(誰が仮眠所を用意しなければならないか)
- 仮眠所のあり方とその責任(仮眠所の仕様、必要な設備や備品、そして、誰が設備や備品を提供しなければならないか)
- 仮眠用寝具について(誰が何を用意するのか、誰が費用を負担するのか)
- 仮眠所の使用ルール(共用する他の勤務者による迷惑を防止するための規則)
- 違反者への処罰